

令和2年4月1日

あそ野学園義務教育学校 が開校します

■ 問合せ = 学校適正配置課 ☎ (20) 3051

あそ野学園義務教育学校は、田沼西中学校区の小学校（戸奈良小、三好小、山形小、閑馬小、下彦間小、飛駒小、田沼小の一部）と田沼西中学校の児童生徒が通う市内初の義務教育学校です。



義務教育学校とは

義務教育学校は、小学校課程から中学校課程まで義務教育を一貫して行う学校です。

学校教育法の一部が改正され、これまでの小学校、中学校等に加え、「義務教育学校」が新たな校種として位置づけられました。（平成28年4月施行）

1. 目的

小学校から中学校までの義務教育を一貫して行うことにより、学校教育制度の多様化および弾力化を推進することを目的とします。具体的には、学年区分の変更や指導内容の入れ替え・移行、独自教科の設定など柔軟な学校運営ができるようになります。

2. 修業年限

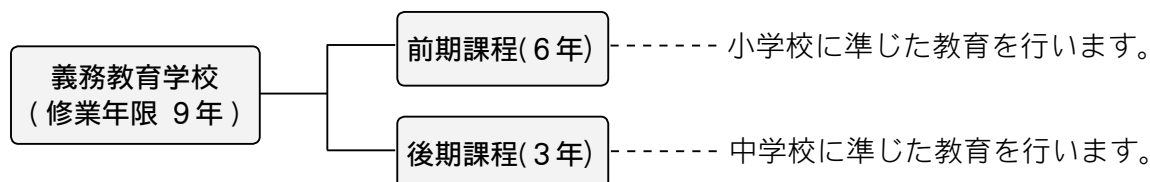
9年間（6年間の前期課程と3年間の後期課程に区分されます。）

学年の呼び方は1年生から9年生となります。



3. 教育内容

前期課程は小学校、後期課程は中学校に準じて学習指導要領に沿った教育が行われます。



義務教育学校のメリット

1. 児童生徒の異学年交流

1年生から9年生が同じ学校で学ぶことにより、「上級生の責任感や他の役に立っているという意識が高まる」「上級生から下級生に対する思いやりの心が醸成される」「下級生から上級生に対する憧れの気持ちが醸成される」などの効果が生まれます。

2. 前期課程、後期課程の乗り入れ授業

乗り入れ授業とは、前期課程の先生が後期課程の授業を行ったり、後期課程の先生が前期課程の授業を行ったりすることをいいます。乗り入れ授業を行うことにより、例えば5・6年生の英語教科の授業で、後期課程の専門の先生の授業が受けられます。また、前期課程の先生と後期課程の先生が交流することにより、それぞれの良さを取り入れる意識が向上されます。

3. 「中一ギャップ」の解消

「中一ギャップ」は、中学校進学後、新しい環境での学習や生活に不適應を起こすことをいいます。

9年間を一貫した教育をする義務教育学校では、中学校への進学に不安を感じる児童が減少されます。



「あそ野学園義務教育学校」について

あそ野学園義務教育学校は、現在の田沼西中学校の敷地内において建設を行っており、校舎については7月末の完成を予定しています。

想定している児童生徒数は、前期課程560人、後期課程300人の約860人を見込んでいます。

学級数は、1学年あたり3学級、特別支援6学級の33学級を想定しています。



あそ野学園鳥瞰図

あそ野学園義務教育学校の開校に向けて～

あそ野学園の開校に向けて、平成28年度から地域代表者、PTA代表者、学校代表者の方々と市教育委員会の職員で話し合いを行いさまざまなことを決めてきました。いくつかご紹介します。

●校名

校名を決めるにあたっては、田沼西地区の児童生徒、保護者、地域の方々へアンケートを行い、その後、開校準備委員会で協議し、「あそ野学園義務教育学校」が選定されました。

●校章

校章は『安藤勇寿「少年の日」美術館』館長の安藤勇寿さんに制作していただきました。「佐野市の豊かな自然と文化に包まれたあそ野学園で学ぶ子どもたち」をコンセプトに、「佐野市の豊かな自然」を佐野市の木（松）、花（かたくり）、鳥（おしどり）で表し、「あそ野」の文字をその3種類でかこみこむデザインとなっています。



あそ野学園校章

●校歌

作詞は、田沼西中学校区の小学校を24年間歴任し、その後佐野市教育委員会教育長も務められた田沼清さん、作曲については地元出身の音楽家の柿沼伸美さんをお願いして完成しています。

●制服

1年生～6年生「私服」、7年生～9年生「制服」で男女ともに「ブレザータイプ」と決まりました。

デザインを決めるにあたっては、制服メーカー4社によるプレゼンテーション、保護者の皆さんからのアンケート結果を踏まえ、制服等検討委員会で検討した結果、右のデザインのものとなりました。



あそ野学園制服

